

科目分類	専門基礎分野	学 年	2 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	病態症候論演習	学 期	後 期	吉田真奈美
		単 位 数	1	
		時 間 数	20	
目的 (ねらい)	解剖生理学に関する基礎知識に基づき、症状・徴候の病態生理を理解し、看護実践に結びつけることができる。			
目 標	1. 症状・徴候の病態生理を理解する。 2. 観察や判断の根拠として病態生理の知識を活用する必要性を理解する。 3. 病態生理を理解した上で、症状・徴候に対する看護の必要性と方法を導き出す。			
授業計画	回数	単元項目	内容	授業形態
	1			
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
教科書				
参考文献				
評価方法	定期試験 100%			
関連科目				
自己学習に関する指針				
その他の 通知事項	随時質問に応じます。			